



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

- 創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
- 事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
- 例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
- 会長：井上正行 ■副会長：北神徳明 幹事：増井義久



卓話 奈良県 産業・雇用振興部次長 兼 知事室室次長 村上 伸彦 様

会長報告

- 本日持ち回り理事会で、2件につき承認を得ました。
 1. 昨年11月に、友好クラブの太宰府RCより、来月15日の35周年記念例会は、震災のこともありクラブ内で執り行うため招待はしないということでお手紙を頂いたのですが、先週の金曜日に実行委員長さんより、友好クラブだけは来てほしいということでご連絡を頂きました。私と太宰府RC友好担当の中村さんで行ってまいります、その承認を頂きました。
 2. 現在お2人について入会手続きが進行中ですが、もうお一人増えましたので、できれば3名一緒に来月中に手続きを完了したいと思いますので、承認を頂きました。
- 先ほど中奥会員からもご挨拶がりましたが、お父様の二七日の日に私と増井幹事が寄せて頂きまして、お参りをさせて頂きました。
- 4月6日に春の交通安全運動が100年会館で行われました。詳しくは社会奉仕委員会よりご報告頂きます。
- 緑の羽根募金のお願いが県の方から来ております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。
- 地区から地区委員の委嘱状が届いておりますので、お渡ししたいと思います。

東日本災害復興支援特別委員会☒	委員☒	北河原公敬	君
研修委員会☒	委員☒	北河原公敬	君
研修委員会☒	委員☒	楠木 重樹	君
会員増強・拡大委員会☒	副委員長☒	宮西 正伸	君
財団補助金委員会☒	委員☒	楠原 忠夫	君
ロータリー情報委員会☒	委員☒	多田 廣	君
米山奨学委員会☒	委員☒	富川 悟	君

発行日/2012年 4月15日
2011-2012/37

Vol.33

No. 1596

HP: <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2011~12年度 当クラブテーマ
『クラブの未来のために
リーダーを育成しよう』



国際ロータリー第2650地区
ガバナー 今西 信裕



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第38回 4月15日
通算1596回

家族親睦花見例会

例会状況報告

第37回 4月10日
通算1595回

- 会員数 69名
- 出席免除者数 23名
- 出席者数 57名
- 出席率 90.48%

第35回 3月27日
通算1593回の修正

- 会員数 70名
- 出席免除者数 23名
- 出席者数 65名
(内補填者数 15+2名)
- 出席率 98.48%

委員会報告

社会奉仕委員会・多田実委員長

4月6日(金)13:30～、なら100年会館中ホールで、春の交通安全県民決起集会が行われました。寒い中、16名のロータリアンに参加頂きました。有難うございました。これから暖かくなりますが、社会奉仕委員会としましては、これが最後の事業になるのかな、と思います。本年度社会奉仕活動に御協力頂きまして有難うございます。

卓話 奈良県 産業・雇用振興部次長 兼 知事公室次長 村上 伸彦 様 (前観光局ならの魅力創造課長) 「記紀・万葉プロジェクトについて」

私は、ならの魅力創造課長として4年間勤務しておりましたが、ポスト1300年を考える過程の中で着目したのが、712年に完成した「古事記」と720年に完成した「日本書紀」でした。その間に「風土記」もありますが、これで勝負すると「播磨風土記」や「出雲風土記」に負けるだろうということで除きました。しかしながら「古事記」や「日本書紀」はイメージが硬く、名前は知っているけど内容はよく知らないという方も多いので、「万葉集」も加え、さらに地域に伝わる伝承も加えると県内全域に広がりますので、これらを総称するキーワードとして「記紀・万葉」という造語が生まれました。

今年「古事記」が完成してから1300年です。まず基本構想ですが2020年に「日本書紀」が完成して1300年になりますので、この2つを繋ぐ9年間の長期的なプロジェクトとして取り組むことになりました。今から4年ほど前に課内で議論を重ね、やはり「古事記」や「日本書紀」は明治から戦前にかけて、時の政府により天皇崇拝、不敗神話、国威発揚などに利用されてきたという事実をどのようにクリアし、薄めていくかを議論する中で、「記紀・万葉」という造語をキーワードとして活用していくこととしました。「記紀・万葉」といえば「奈良県」というブランドイメージの確立を念頭に置き、①奈良県が歴史情報の発信のしかたとその味わい方の提案に関するリーダー的存在となる、②歴史素材の多角的な紹介により、奈良県の実力の再発見、地域の誇りの醸成につなげる、③奈良県への誘客を促進し、顧客満足度を高める、の3点を目標に掲げることとしました。また留意点として、「ニュートラルな立ち位置」から歴史を施策に反映させる、例えば、明日香から芋ヶ峠を経て吉野に至る県道は「持続天皇行幸の道」と定義付けしたり、サイクリングロードにも中津道、下津道という名称を使ったり、橿原考古学研究所には今年「古事記」ゆかりの地を発掘していただいております。そして、それらの情報発信を活発に行っていくという目標に達しました。いままでの取り組みとしては、5～6年前に初めて奈良県の観光局も、春には秋の観光素材を、夏には冬の観光素材を、自分たちで旅行の企画書を作成して東京・名古屋・博多などの旅行会社に持ちこみ始めたのですが、そのときに旅行会社の方に言われたのが、「ついに奈良県さんも来られましたか。京都市観光協会は20年ほど前から持ってこられてました。」ということでして、非常に立ち遅れていたのですが、現在はそのような取り組みを行っております。そして、従来は協賛金を出して旅行会社に企画してもらっていたのですが、最近は旅行会社や雑誌社に営業をかけて、資料を持ち込み、組み立てて商品化していただいています。従前と変わってきた身近な例としては、これまでの観光パンフレットは、京都が大きく、奈良が小さい、というのが一般的で、三都物語でも「京都・大阪・神戸」と書いてあり、奈良と滋賀は小さく書いてあるというのが一般的でしたが、積極的に働きかけることにより、旅行商品を企画して、ホテル、お寺、神社の方にも県で交渉して、組み立てて持ち込み始めたところ、だんだん奈良の字も大きくなってきました。最近は奈良県だけの旅行パンフレットも出現し、地道ではありますが「古事記」「日本書紀」を活用した観光振興ということで旅行会社にも関心を持っていただき、出版社にも同行取材して協力し、協賛金なしで出版されるようになってきました。こういう取り組みをする中で「古事記」「日本書紀」関連の出版物の中で奈良県を取り上げる機会も増加してきました。また、昨年3月13日、東日本大震災の2日後で開催するかどうか喧々諤々の末に実施したのですが、橿原文化会館において石見神楽や出雲大社で有名な鳥根県と連携して「古事記」のシンポジウムを開催しました。7月10日には東京のテアトル銀座で富山県と連携して大友家持繋がり「万葉集」のシンポジウムを、今年1月29日にはテアトル銀座で「古事記」ゆかりの、高千穂神話で有名な宮崎県、鳥根県、因幡の白兔で有名な鳥取県、福井県をお誘いし、各県知事がそれぞれの観光PRをプレゼンし、シンポジウムを開催し、さらには兵庫県や長野県などを加えて物産展を併せて行い、いずれも満員の大盛況でした。このお話をさせていただくと、なぜ東京でばかりするのか、奈良より東京の方が多くはないかという話が、必ず県議会でも出ます。ただ奈良や近畿でやるよりも東京でやる方がマスコミでも大きく取り上げていただけますし、東京の奈良ファン、歴史好きの人に訴えた方が効果や影響力が大きいです。また従前から奈良のとりわけ奈良市内の宿泊者の30%以上は東京方面の方です。それに加えて今年1月には、「記紀・万葉」のホームページを立ち上げています。入門編、中級編、上級編などがあり、「楽しむ」「出会う」「学ぶ」「つながる」ということでアップしております。また、「なら記紀・万葉 名所図会 古事記編」という冊子があり、これを1月29日に2万部発行

させていただきました。これが県庁始まって以来の人気といわれている冊子で、3万部増刷したところですよ。大変分かりやすいという評価をいただいています。また新年度では名所図会第2弾として、ゆかりの地の巡り方ということで、これは奈良県内の「古事記」ゆかりの地のご紹介ですが、その巡り方（歩いて巡る、車で巡る、自転車で巡る、電車で巡る、バスで巡る）と、子供編も作成していただく予定です。名所図会とは江戸時代の観光ガイドブックのことですが、京都市も今年度予算要求で京都名所図会を発行するのですが、京都の方が情報発信力は大きいですが、先に出したのは奈良県です。今後、観光見本市ということで、県内に東京、名古屋、博多の旅行エージェントや出版社の方40～50名を招聘して、1日目はプレゼンテーションとレセプションをして、県内の旅館・ホテルに分宿していただき、2日目は吉野、信貴山、東大寺、春日大社などの希望のコースに分かれてエクスカッションを行い、旅行商品の造成や出版物への掲載の促進に努めています。東京では4ヶ月に1回、2府4県の観光情報発信会というのが都道府県会館であり、先日も明日香の新村長が古代衣装を着て村のPRをされたということがありました。この観光情報発信会や日本橋の奈良まほろば館、あるいは旅行会社、旅行雑誌や歴史関連の出版社などに個別セールスに伺っております。このように、さらなる誘客促進に取り組むことによって奈良県に関心を持っていただき、実際にお越しいただき、なかなかいいじゃないかと感心していただくことにより、奈良県を好きになっていただき、日帰りから一泊へ、そして一泊から連泊へ、連泊から1週間以上の長期滞在へ、そして究極の目標は奈良県に移住していただければ、これが一番の地域の活性化に繋がるのではないかと考えています。「古事記」「日本書紀」を題材に使える最も有利な県は奈良県ですので、活用していかなければならないと思っております。これから展開されていく記紀・万葉プロジェクトを通して、地域の活性化、奈良県の経済の活性化に繋がればと考えております。

現在、奈良県ならの魅力創造課では、「歩く・なら」という事業があるのですが、70以上の歩くコースをアップしております。職員が春夏秋冬、土日にそれぞれ2往復づつして、検証を行い、ルートを作って、トイレとか食事処などを紹介しております。これが奈良県のサイトで一番アクセス数が多くて、1ヶ月で6万件くらいアクセスがあります。その中でも「記紀・万葉でたどる奈良」というものも17ルートアップしております。新年度は記紀・万葉プロジェクトの推進で1億5000万円の予算措置をしています。一番大きいのは「記紀・万葉」として県内の盛り上がり振興するための具体的な事業として、古事記年のフィナーレーを飾る組み立てをするのに5000万円、歴史関連情報のデータベースの作成、ホームページの充実1600万円、県内及び東京でのシンポジウムに1200万円を計上しています。また、「古事記」ゆかりの地の全国マップ作成ということで、昨年全国の観光ボランティアガイドの団体に照会をかけ、奈良県の観光ボランティアガイドの方にも協力いただきます。この奈良県の観光ボランティアガイドは全国第4位の規模で1000人以上の方が活動されています。人口比率からいうと日本一で、レベルもかなり高いです。「古事記」「日本書紀」についてのご案内が詳しくできるように研鑽を続けていただいております。次に、「記紀・万葉」に関する自主的なイベントを開催するNPO法人等に対する助成ということで1000万円、これは50万円限度で20団体を想定しております。観光ボランティアガイドと「記紀・万葉」ゆかりの地を歩くウォークイベントに200万円、「記紀・万葉でたどる奈良」を紹介するためのパネル展とパネル作成の経費に300万円、橿原考古学研究所の太安万侶の墓碑の理科学的な分析と結果発表に300万円が計上されています。「歩く・なら」のホームページには、東大寺は大仏殿が有名ですが、東大寺をじっくり楽しむ半日コースというのも入っておりますので、是非ご覧下さい。

記紀・万葉プロジェクトを分数で言うと、「古事記」と「日本書紀」は危険なところもありますし、特に70代の方については戦前の学校教育の関係もあり、抵抗のある方もおられると思っております。「古事記」「日本書紀」／「万葉集」くらいでやりたいと考えております。リーマンショック以降、東日本大震災、昨年9月には紀伊半島大水害という未曾有の危機に直面しているわけですが、これを少しでも払拭していくために、記紀・万葉プロジェクトを進めていきたいと思っております。これは「記紀」のしゃれですが、この未曾有の「危機」を、「鬼気」迫る勢いで打破して、「喜々」として喜んで仕事に取り組みさせていただきます、しかしながら皆様方の意見をよく「聞き」ながら進めていきたいと考えております。今後、奈良県から全国に対し、「記紀・万葉」のブームを起こしていければと願っております。

「古事記」と「日本書紀」には出てきませんが、小学校の教科書には必ずでてくる、福岡県志賀島で発見された「漢委奴國王」という金印がありますが、これは今からちょうど約230年前に発見されました。三国志の魏書東夷伝には「親魏倭王」という金印も届けられたことになっており、邪馬台国については畿内説と北九州説が戦っております。邪馬台国の卑弥呼は倭迹迹日百襲媛（やまとととひももそひめ）であるという説もありますが、もしこれが仮に奈良県の特に巻向あたりから出てきたら凄いことであり、夢のような話ですが、そうなればいいかと密かに念願しております。

「古事記」「日本書紀」の関連では、ちょうど産業・雇用振興部の方でお世話になりますので、「記紀・万葉」関連のお土産物などを企業の方と共に考えていきたいと思っております。今日考えてきたのは、冗談のようなものですが（私は本気ですが…）、「記紀・万葉」は「記紀・饅頭」、「太安万侶」は「太マシュマロ」、「稗田阿礼」は「稗田のあられ」、このような便乗商品も、もし「記紀・万葉」が奈良県でブームを起こすことができれば、企業も真剣に考えていただけるのではないかと考えております。

最後になりましたが、奈良大宮ロータリークラブの益々のご発展の会員の皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、私のお話を終わらせていただきます。

NOMC第169回 伊勢山上

(日時) 平成24年 4月 8日 (日)
 (参加者) 麴谷・飯田・小池・橋本・森下・向井・植倉
 (行程)

6:30 近鉄 新大宮駅 発
 | マイクロバス
 8:30 飯福田寺山門前 着
 8:50 行場入山
 | 油こぼし
 | 岩屋本堂
 | 鐘掛
 | 亀岩
 | 蟻ノ戸渡り
 | 知恵ノ輪
 | 飛石
 11:00 行場下山
 11:20 飯福田寺山門前
 | (昼食)
 | 裏行場
 13:25 飯福田寺山門前 発
 | 松阪城跡散策
 | 本居宣長奥墓お参り
 16:10 本居宣長奥墓 発
 | マイクロバス
 18:30 近鉄 新大宮駅前 着 (解散)



ニコニコ箱

本日計 44,000円 累計 2,649,000円

- 松岡弘樹 君** 村上次長さん、本日は人事異動直後の大変お忙しいときに、卓話におこしいただきましてありがとうございます。記紀万葉プロジェクトの卓話、よろしく願いいたします!!!
- 中奥雅巳 君** 連続で欠席いたしました、すみませんでした。井上会長、増井幹事、小西さん山深い自宅まで来ていただき、ありがとうございました。
- 中村信清 君** 北河原様 先日は有難うございました。又、立派な襖も拝見 楽しい一日になりました。
- 野崎隆男 君** 4月15日の春の家族親睦例会が新歌舞伎座とシェラトン都ホテル大阪で行いますので、皆様よろしく願いいたします。
- 藤井正勝 君** 家族例会の欠席のおわびに
- 潮田悦男 君** 初孫が小学校入学しました。ニコニコ
- 森 一紀 君** 桜咲き いい季節に成りました。
- 野上利樹 君** 結婚記念日のお祝い ありがとうございます。ニコニコに協力!
- 谷川千代則君** 小西さん 今日ありがとうございます
- 石野捨雄 君** ニコニコ協力
- 小池恭弘 君** ニコニコ協力
- 門脇伸幸 君** ニコニコ協力
- 森山斗福 君** ニコニコ協力
- 弓場裕史 君** ニコニコ協力
- 植村将史 君** ニコニコ協力

例会変更

5月

■京都山城ロータリークラブ ■

・☑5月9日(水)・・・例会場変更。 場所：日本伸縮管株式会社

※ビジター受付は、5月9日(水)けいはんなホール1階にて、12:00~12:30まで行います。